



野女っ子『野田女子高校だより』

第1号 平成26年5月30日(通巻 37号)
鹿児島県出水市野田町下名 5454
Tel 0996-84-2074 Fax 84-2161
鹿児島県立野田女子高等学校

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/noda/top.html>

ご入学おめでとうございます 本科第51回 専攻科第44回入学式



4月8日(火) 鮮やかなツツジが咲きほこる中、本科第51回、専攻科第44回入学式が行われ、本科106名、専攻科21名の新生が入学しました。入学式後、対面式や新入生オリエンテーション等、様々な行事が行われました。



新校長 佐藤 真由美 先生より 「生徒の皆さんへ」(一部抜粋)

朝夕響き渡る感応寺の時鐘、歴史と伝統の重みを感じさせる町のたたずまいに、贅沢な時間を楽しみながら、野田女子高等学校に赴任して早2か月が過ぎようとしています。

高校の3年間という月日は、時の流れに沿って体が変容していくのと同じように、その心や魂が瑞々しく膨らんでいく人間開花の道筋にあります。高校時代を含め、その後続く若者としての生き方は、やがてその長い生涯の間に幾度となく見え隠れしながら、人生を彩ってくれるものであります。「継続は力なり」「未来から今の自分を俯瞰する」など、誠実に、為すべきことを、為すべきときにきちんと行い、一途に打ち込んで生きることが大切だと思います。

本校での3年もしくは5年の学びを通して、皆さん一人ひとりが自分に対して「自尊感情」や「自己肯定感」をもてるよう、また、それぞれの自己実現や進路実現のために、心身の健康やたくましさ、基礎となる確かな学力がしっかりと身につくように、皆さんと心を合わせて、真摯に努力してまいりたいと思います。

生徒にかかわる私たち大人が、親として教師として、懐の深い励ましや生徒の胸に響く言葉を贈ってあげられたらと日々願っております。



食物科 城山観光ホテル料理長(佐藤)先生

五月十四日(水)に、三年生が、城山観光ホテル和食料理長から、直接ご指導いただきました。今回は、黄身酢を使った料理を学びました。超一流の技に魅了され、技術向上の意識がより一層高まりました。次回は七月に同ホテルの洋食料理長からご指導をいただく予定です。



生活文化科 『こどもの森』始動中

生活文化科では、「こどもの森」活動をしています。五月二十日(火)に校内の「森の保育園」で三年生が第一回目の「森の教室」を実施しました。当日は、十八組の親子と、リトミックや造形遊びを楽しみました。次回は九月に実施予定です。



専攻科修了生 就職100%

去る三月の看護師国家試験は、9割を超える高い合格率でした。全員が、看護師または准看護師として全国各地三〇〇件以上の求人の中から、自分に合った現場で頑張っています。今年の専攻科生も、宿泊研修等を通して交流を深めつつ、看護師としての意識を高めています。



衛生看護科三年生 いよいよ 病院実習始まる

五月二十六日(月)から出水市、阿久根市、伊佐市、水俣市の四カ所で実習が始まりました。緊張しながらも一生懸命頑張っています。毎日の実習後、個別に事後指導を受けます。実習は七月四日(金)までです。



新任者紹介

16名の新しい職員が転入しました。どうぞよろしくお願ひします。



さとう まゆみ (校長)
 佐藤 真由美 (校長)
 ゆげ ひろみ (理科)
 弓削 博美 (理科)
 いまきいれ あやの (家庭)
 今給黎 綾乃 (家庭)
 みずぐち しょうこ (看護)
 水口 翔子 (看護)

えばた みちよ (国語)
 江畑 美千代 (国語)
 かわぐち ゆうすけ (音楽)
 川口 裕介 (音楽)
 きした きよこ (家庭)
 木下 聡子 (家庭)
 おおはら けんいち (事務)
 大原 兼一 (事務)

くわば りょうた (地歴公民)
 桑羽 良太 (地歴公民)
 おおつぼ たかこ (初任研指導)
 大坪 貴子 (初任研指導)
 かみや なるみ (家庭)
 假屋 なるみ (家庭)
 こば ひさのぶ (事務)
 木場 久伸 (事務)

こまさ よしと (数学)
 小正 好人 (数学)
 むらよし ひでき (英語)
 村吉 秀紀 (英語)
 ちようき こうこ (看護)
 帖佐 公子 (看護)
 よこやま ちとせ (事務)
 横山 智登勢 (事務)



平成26年2月に実施された「学校関係者評価委員による評価」

評価基準 A～ 十分達成 B～ 課題はあるがおおむね良い

評価の観点	評価資料等	評価	所見
1 学校は経営方針及び具体的教育目標に準じて適切に運営されているか。	学校案内等委員会資料	A	特になし
2 自己評価・外部アンケートの項目は適切であるか。	自己評価・外部アンケート集計表	B	生徒指導について自己理解や自己実現、進路に向けての適切な指導をお願いします。
3 自己評価・外部アンケートの結果内容は適切であるか。	自己評価・外部アンケート集計表	B	情報提供にもう少し工夫して欲しい。
4 地域に開かれ、地域に信頼される学校であったか。	学校行事の参加人数等	A	駅での服装、あいさつ指導など、これからも指導を続けて欲しい。
5 生徒一人ひとりが伸び伸びと活動し、活気に満ちた学校であったか。	自己評価・外部アンケート集計表・授業参観	A	資格取得との兼ね合いもあるが、課外活動を広げて欲しい。予習・復習など、自宅学習がもっと必要である。
6 職員が使命感と責任感を持って生徒の指導に当たったか。	自己評価・外部アンケート集計表	A	指導については工夫・研究し、適切な計画を立てて頑張っていると思います。
7 学校は特色ある活動をPRする方策を行ったか。	学校だより・ホームページ等委員会資料	A	特になし
8 保護者（PTA）の協力は得られたか。	PTA活動参加者人数委員会資料	B	地区PTAの出席率アップに努力して欲しい。声かけの努力が必要。
9 関係機関及び近隣の小・中学校との連携は図られたか。	各種事業等の実施記録等	A	中学校との連携をさらに進めて欲しい。この2年間で素晴らしく改善された。

学校の現時点での課題

課題に対する改善策（予定）

- 自宅学習の習慣化と基礎学力の定着
- 三者連携の徹底による進路指導
- 募集定員の確保
- 安心・安全な学校づくりの推進

- 毎時間の授業や宿題等に真剣に取り組ませる工夫をし、基礎学力の定着を図る。
- 進路に関する指導力を向上させ、教員相互及び保護者との連携を徹底させる。
- 広報活動をより充実させ、特色ある授業内容のPRや出前授業等を通して定員確保に努める。
- 職員が常に危機管理を意識し、事故を未然に防ぐ方策を実践する。

外部評価委員会の委員からの助言等

- 野田女子の名前を聞く機会が増えてきた。学校の特色が評価されてきていると思う。
- 特にこの2年間の指導が行き届き、引き締まった野田女子高になったと感じている。
- 7年くらい前に比べ、徐々に評価が高くなり、最近是好印象である。
- 登下校の様子やメディア等に紹介されている本校生の表情が柔らかい中にも芯があって良い。このような後輩の活躍や様子を誇らしく思う。
- 先生方が礼儀正しく、しっかりとした対応で、これが生徒たちに良い影響を与えていると感じる。
- 今後も地元中学校と本校が連携し、相互の学校経営の充実を図りたい。卒業式等が素晴らしい。
- 地区PTAの出席率が低い。特にPTA行事への父親の参加が大変少ない。

